

神経内科



神経内科部長
樋口 じゅん

診療内容と実績

当科は常勤2人体制(うち神経内科専門医1名)で、神経救急を特色としています。主な診療疾患は脳卒中、てんかん、髄膜炎、脳炎で、入院患者はほぼ100%救急入院であり、入院患者の約半数が脳梗塞でした。

tPA静注療法は、安全に、かつ、来院-投与時間は平均47分(最短23分)と国内でも有数のスピードを誇ります。

脳出血も手術適応外の場合は当科が担当し、脳血管撮影や経食道心エコーも当科で施行します。脳炎も年間数例経験し、腎臓内科の協力により、単純血漿交換も含めた集中治療が可能です。

プログラムの目的と特徴

神経救急について豊富な症例を経験可能です。特に、脳梗塞に関してはtPA静注療法を含む急性期治療、頭部CTやMRIなどの画像の読影、神経超音波検査を学ぶことが可能です。

高齢化社会の進行に伴って合併症を持った脳卒中患者は増えており、総合病院での脳卒中研修の意義は大きいと考えています。

研修内容と到達目標

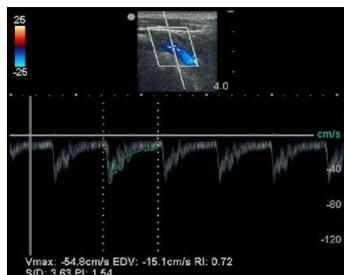
■短期研修

- ・脳卒中を中心に神経救急疾患の初期治療へ参加する
- ・NIHSSを始め神経学的診察法、頭部CT、MRIの読影を学ぶ
- ・腰椎穿刺、頸部エコー、CVやPICC挿入などを指導医の元、実践する

■1年研修・2年研修

- ・上記に加えて、神経疾患の入院後の方針を計画する
- ・標準的な神経学的診察法を学ぶ
- ・経食道心エコーや脳血管撮影を実践する
- ・興味深い症例について学会発表や英文症例報告を行う

なお、当科研修後は、東北大学神経内科へ入局することにより神経難病診療の経験や神経内科専門医および学位の取得、もしくは、国立循環器病研究センター脳血管内科への国内留学も可能である。



頸部エコー



血管撮影室